



共同声明

Emanuele Riva (IAF議長)

Etty Feller (ILAC議長)



世界認定推進の日 2024

認定:明日を導き、未来を形づくる

認定に係る国際的組織 IAF と ILAC では、
毎年6月9日を世界認定推進の日と定め、この日を記念し、共同でテーマを設定しています。

2024 年のテーマは、「認定：明日を導き、未来を形づくる」であり、
世界が大きな変化を遂げる中で、認定が如何にして、新技術、デジタル化と持続可能性の追求に信頼を与えることができるか、
という観点で耳目を集めることを目指しています。

急速な技術進歩、変化する消費者行動、継続的な経済の不確実性、これらを特徴とする世界では認定が不可欠です。今年の世界認定推進の日は、テーマ「認定：明日を導き、未来を形づくる」により、新たな機会を活用して、グローバルな課題に対処する上での認定の役割に焦点を当てます。

この変革の時代の最前線にあるのが第4次産業革命 (IR 4.0) であり、人工知能(AI)、ロボティクス、モノのインターネット(IoT)、ビッグデータ分析などのデジタル技術の社会や産業への統合を特徴とします。これらの技術は、我々が相互に交流し、生産し、革新する方法を根本的に変えていくのです。

認定は、信用と信頼のフレームワークを提供することで、組織が自信を持って新技術を採用しイノベーションを推進することを可能にします。製造、医療、農業のいずれにおいても、認定された適合性評価が、新しい製品・プロセスが厳格な要件を満たしていることを確実にし、これらの既存システムへの導入と統合を促進します。試験と検査が、製品の安全性と規制遵守に対する信頼を与えます。データ保護とサイバーセキュリティのスキームが、企業が包括的なデータ保護プロセスを実装し、巧妙化するサイバー攻撃を防御し、顧客のプライバシーを保護することに役立ちます。

IAF、ILACと、更に広範な適合性評価コミュニティは、技術変化の受け入れと対応に努めてきました。最近の例としては、2023年12月に発行された「ISO/IEC 42001 情報技術 – 人工知能 – マネジメントシステム規格」の開発を挙げるすることができます。これは、AI利用が分野を超えて急速に拡大する中、世界初のAI マネジメントシステム規格として、透明性、説明責任、倫理的配慮に対処することを目指しています。この規格は、進化する技術情勢に適応し、AIシステムが責任を持って開発及び使用されるようにするというコミュニティの取り組みを強調しています。

新技術が登場しても、環境問題と人権問題は存在し続けます。近年、環境・社会・ガバナンス (ESG) への配慮は、消費者、企業、規制当局、投資家にとって非常に重要になっています。消費者は自らが購入する製品やサービスが環境や社会に与える影響をより意識するようになり、持続可能で倫理的に生産された商品への要求が高まっています。企業は、認定された適合性評価を利用することにより、事業運営やサプライチェーンにおける社会的・環境的に責任のある行動への取り組みを実証することができ、消費者や規制当局のESG パフォーマンスデータに対する信頼を得ることができます。

認定は、我々が再利用と再生を促進する循環型経済に移行する中で、製品の安全性、効率性、修理、耐久性、性能の向上、リサイクルや再利用の容易性に対する信頼を与えます。認定された試験、計測、妥当性確認および検証サービスはまた、エネルギー効率への取り組み、再生可能エネルギーの生産および二酸化炭素排出削減の取り組みをサポートすることにより、気候変動と戦う世界的な取り組みも強化します。

これらの変化の例は、IAF・ILACと認定が取り組んでいる幅広い変化の一部にすぎないことに留意することが重要です。まだ予見できない変化や、新たな課題や機会が出現するにつれて、おそらく優先順位は変化し続けるでしょう。IAFとILACは、世界が進化し続ける中、認定が今後も進歩の確固たる基盤であり、企業に力を与え、消費者を保護し、世界の繁栄を促進すると確信しています。

世界認定推進の日2024があることによって、国際認定フォーラム (IAF) (<https://iaf.nu>)、国際試験所認定協力機構(ILAC) (www.ilac.org) およびその会員が、認定が如何に明日を導き、未来を形づくるかを強く訴えることができます。IAF と ILAC は、有益な認定の役割を説明するために、詳細な図解を含むさまざまな情報を提供しています。詳細は以下のサイトをご覧ください。

- [Public Sector Assurance](#)
- [Business Benefits.](#)